

## 2019年度理系チャレンジ講座（第4回）を実施しました

9月18日（水）に本学理事・副学長の津村弘先生を講師に迎え、「健康寿命を延ばすための重要な要素とは」というテーマで、理系チャレンジ講座の第4回を実施しました。遠隔配信した国東、大分雄城台、大分鶴崎、竹田、中津南、大分西、白杵、別府翔青、安心院、日田および来学受講した大分、大分東明の12校200名が受講しました。



先生はご専門の整形外科という観点から健康寿命に関する重要な要素の紹介、健康寿命増加に対する研究について紹介されました。はじめに今の日本人の平均寿命を紹介し、健康寿命の定義を話されました。健康寿命とは日常生活動作が自立している期間というふうに定義されているそうです。つづいて、健康寿命を短くする原因を見てみると、転倒や骨折と

いった運動機能に関することが大きいことを確認したのち、歩行に関して焦点を当てて、歩行を解析するための研究、実験、具体的事例を紹介されました。お話の中では高校生に向け、関節にかかる荷重の計算についても触れていらっしゃいました。その後歩行の要である膝に関する疾患である変形性膝関節症、骨粗鬆症を具体例として、健康寿命への影響、症状解説、病理解析の研究方法の紹介、治療法の紹介



をされました。その中で高校生へのメッセージとして医学の進歩は著しいので、大学合格をゴールとするのではなく、医学を目指すならそのあとに勉強することが重要であるということをお話していらっしゃいました。

授業後に実施したアンケートでは「総合的に判断して授業がよかった」（97%「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計。以下同じ）、「教員は真剣に取り組んでいた」（100%）、「受講生は授業に意欲的に取り組んでいた」（97%）という結果でした。遠隔配信については、「音声はよく聞こえた」（99%）、「映像はよく見えた」（99%）という結果が出ました。

